

【多発性骨髄腫】

レジメン名称 : DKd(2サイクル)  
 催吐性リスク 軽度

インターバル日数 : 28 日  
 基準日 day1

使用する抗がん剤:

Rp	手技	薬剤名称	標準値	上限値	投与	ルート	組織侵襲性
4	皮下注	ダラキューロ配合皮下注	1800mg/body	-	day1,8,15,22	-	非炎症性
2	点滴静注	カイプロリス点滴静注用	56mg/m <sup>2</sup>	-	day 1、2 8、9 15、16	-	非炎症性
3	内服	レナデックス錠4mg	20mg/body	-	day 1、2 8、9 15、16	-	-
			40mg/body	-	day22	-	-

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day2	day8	day9	day15	day16	day22
1	点滴静注	生理食塩液 100ml 点滴静注 ※点滴時間30分 投与経路:末梢ルートメイン	100ml	投与順1	投与順1	投与順1	投与順1	投与順1	投与順1	
2	点滴静注	カイプロリス点滴静注用 注射用水 100ml 大塚糖液 5% 100ml 10mg/Vは注射用水5mlで溶解 40mg/Vは注射用水20mlで溶解 (2mg/ml) * 点滴時間30分 投与経路:末梢ルートメイン	56mg/m <sup>2</sup> 2mg/mlになる量 50ml	投与順2	投与順2	投与順2	投与順2	投与順2	投与順2	
3	点滴静注	生理食塩液 50ml * 点滴時間5分 投与経路:末梢ルートメイン	50ml	投与順3	投与順3	投与順3	投与順3	投与順3	投与順3	
4	皮下注	ダラキューロ配合皮下注 翼状針使用のため15.5mlで調製 皮下投与	1800mg/body	投与順4		投与順4		投与順4		投与順1

Rp	手技	薬剤名称	用量/単位	day1	day2	day8	day9	day15	day16	day22
1	内服	アセトアミノフェン錠500mg	1000mg	1000mg		1000mg		1000mg		1000mg
2	内服	ボラミン錠2mg	2mg	2mg		2mg		2mg		2mg
3	内服	レナデックス錠4mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	20mg	
			40mg							40mg

- ★ アセトアミノフェン、ボラミン、レナデックスはダラキューロの投与1時間以上前に投与
- ★ レナデックスはカイプロリスの投与30分以上前に投与
- ★ 輸血時の間接クームス試験に影響あり
- ★ 高齢者ではレナデックスの減量を考慮